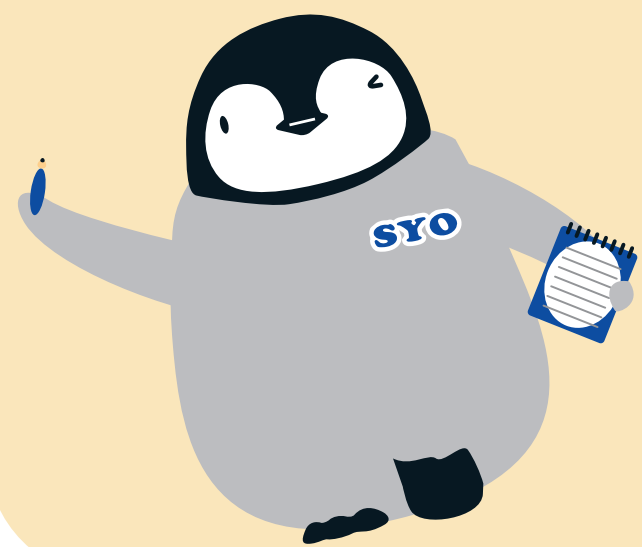




南極から石を持ち帰るには



南極の石の研究者にしつもん！

研究者は、南極の石をどうやって持って帰ってくるんだろう？

国立極地研究所 地圏研究グループ / 広報室長の本吉洋一教授（2017 年当時）に答えていただきました！



南極からどれくらい石を持って帰って来るの？

石の研究は因果^{いん が}な商売です。朝、ベースキャンプから調査^{ちようさ}に出かける時は、リュックサックの中はほとんど空ですが、調査を終えてキャンプに戻る時には、リュックサックは採集^{さいしゅう}したたくさんの石でふくれあがっています。私の経験ですが、キャンプに戻って石の重さを計ったら、なんと 60kg を超えていました。自分と同じ体重の人をおぶって帰ったようなものでした。



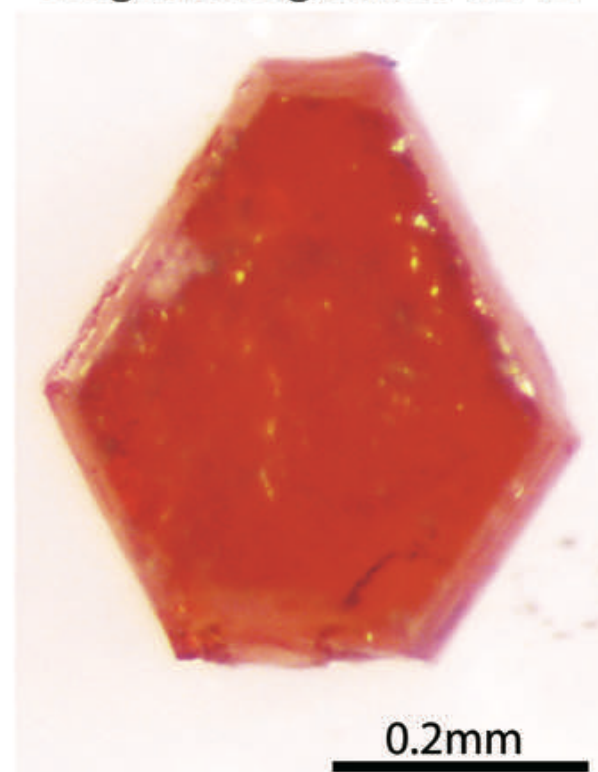
【第 46 次南極地域観測隊（2005 年）の調査の様子】



今までにどんな石を持って帰ってきたの？

地質調査をすると、いろいろな種類の石が見つかります。これはおもしろそうだ、重要だと思えた石は、サンプルとして日本に持ち帰ります。どのような石をサンプルとして持ち帰るかは、調査の目的によっても、また調査する人によってもちがってきますが、共通しているのは「情報をたくさんもっていそうな石」であることです。もしめずらしい鉱物^{こうぶつ}がその中に見つければ、ひょっとしたら新鉱物の発見につながるかもしれませんし、それはそれで新しい、貴重な情報となります。

マグネシオヘグボマイト-2N4S
Magnesiohögboite-2N4S



第 50 次隊（2009 年）
新鉱物発見！



日本までどうやって石を持って帰ってくるの？

南極で採集した石は、いったん野外のベースキャンプに集められ、一斗缶^{いっ と かん}やペール缶などに梱包^{こんぱう}した後、ヘリコプターで南極観測船「しらせ」に運ばれ、さらに長い航海^{こうかい}を経て日本まで届けられます。



南極に行ったら、勝手に石を持って帰って来ていいの？

昔は特別な制限^{せいげん}はなく、石はお土産としても自由に持ち帰られていましたが、1991 年、南極における鉱物資源に関する活動を禁止する「環境保護に関する南極条約議定書」が採択され、研究目的以外の石の持ち帰りは一切禁止されるようになりました。南極で石の調査を行う場合は、事前に環境省に確認申請という手続きをとります。つまり、対象とする地域の地質調査と、研究用の石を採集することの許可^{きょ か}を得て、初めて現地調査ができることになります。